
Square、ビザ・ジャパン 元ヴァイスプレジデントの スティーブン・アダムスを日本責任者に任命 ～国内での15年の経験を活かし、日本市場における事業成長を加速～

Square（本社：米国ブロック社、ブロックヘッド：ジャック・ドーシー）はスティーブン・アダムスを日本責任者に任命したことを発表しました。アダムスは、ビザ・ジャパンのヴァイスプレジデント兼日本における加盟店営業およびアクワイアリング事業の責任者を務めていました。

日本事業の責任者に新たに就任したアダムスは、事業の成長を加速させる役割を担います。決済業界のリーダーとしてSquareの認知度を高めると同時に、革新的な製品の展開を通じて、Squareのグローバル戦略を日本市場に適応させ、成長を加速させるチームを支援します。さらに、パートナーシップの拡充を進め、Squareが日本企業の成長と成功を後押しする存在として定着することを目指します。



■スティーブン・アダムスによるコメント

「Squareに参画できることを大変嬉しく思います。2013年の日本市場参入以来、Squareはキャッシュレス決済の普及を促進し、多くの日本企業のビジネスを支援してきました。しかし、日本にはまだ大きな可能性が残されています。経済産業省の主導により政府はさらにデジタル化を進めようとしており、日本は転換点を迎えています。あらゆる規模の企業にとってデジタル決済の重要性が急速に高まっています。Squareは、グローバルで培ってきた専門知識と技術を活用し、日本企業のデジタル化を強力に支援してまいります。」

〈これまでの経歴〉



2011年より東京に在住。3年間勤務したブラックストーン・グループの日本法人では、不動産プライベートエクイティ部門に所属。そして8年勤務したビザ・ジャパンでは、ヴァイスプレジデント兼日本における加盟店営業およびアクワイアリング事業の責任者として、日本のキャッシュレス決済導入を推進する重要な戦略プロジェクトを牽引。2024年末にSquareに入社。

Squareは、2013年の日本市場参入以来、力強い成長を続けています。現在では、デジタル決済、資金調達、事業運営を支援するソフトウェアソリューション、ECツールなど、幅広いプロダクトを提供しています。2024年だけでも、Squareは以下の5つの主要な新プロダクトを発表しました。

- Square 資金調達: 事業者の成長を支援する資金調達サービス
- Square レジスター: より複雑なビジネスにも対応する高機能POSレジ
- iPhoneのタッチ決済: 新規事業者の参入障壁を下げ、迅速な決済を可能にする機能
- Square キオスク: 人手不足の飲食業における注文受付を効率化するセルフオーダーシステム
- Square QRコード決済: 1つのQRコードで7つの主要コード決済方法に対応

Squareは、これらの新プロダクトを通じて、あらゆる規模の日本企業のビジネス成長を支援しています。

アダムスは、今後の展望について次のように述べています。「2025年は、Squareにとって日本市場における重要な年となります。飲食業から小売業まで、あらゆる業種の地域事業者の皆様にご貢献できる決済・コマースソリューションを拡充してまいります。地域に根差したアプローチを徹底し、志を同じくする日本のパートナーとの連携を強化することで、サービスの拡充と顧客満足度の向上を目指してまいります。私たちの使命は、日本企業の皆様がデジタル化を推進し持続的な成長を実現できるよう、全力でサポートすることです。」

Squareの国際事業を統括するビジェイ・ヴァチャニは、今回の任命について次のように述べています。「スティーブンは、実績のあるリーダーであり、すでにSquare Japanに良い影響をもたらしています。日本企業のテクノロジーとコマースのパートナーとして、Squareが“頼りになる決済プラットフォームになる”という私たちの大きな目標を達成するのを後押ししてくれると確信しています。」

Squareについて

Squareは、誰もが販売や決済を手軽に始められるように、商取引に必要なツールを取りそろえています。[飲食業](#)、[小売業](#)、[専門サービス業](#)などの各業種に特化した[ソフトウェア](#)、カスタマイズできる[eコマースツール](#)、[資金調達サービス](#)、[スタッフ管理ツール](#)などがその一例です。これらが全て連携して機能することで、事業者の時間や労力を削減します。世界中の事業者が事業の運営や成長にSquareを活用しています。詳しくは、www.squareup.com/jp/jaをご覧ください。
